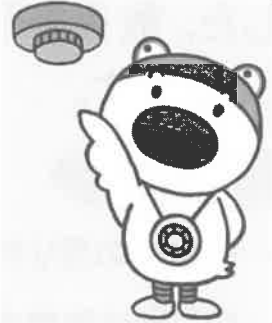


家庭と防火

発行第21号

安達地方女性防火クラブ連絡協議会

「我が家は付いているからもう大丈夫。」ではありません。



住宅用火災警報器の点検・交換 実施していますか？

●半年に1回、作動点検を

火災発生時、せっかく設置していた住宅用火災警報器も作動しなければ意味がありません。万が一のときにきちんと作動するよう、半年に1回を目安に作動確認を行いましょ。

点検方法

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

- 定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

正常な場合は？

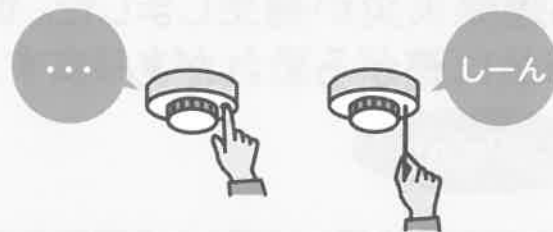
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



注)警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」が「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

10年たったらとりカエル。

NEW☆



とりカエル及びイラスト
(一社)日本火災報知機工業会

●10年を目安に本体の交換を

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の劣化により、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に本体の交換をされるようお勧めします。



放火に注意



平成30年、二本松市内において不審火が相次いで発生しました。放火を予防するためには、放火しにくい環境をつくるのが大切です。

Point

- 建物の周りや自動販売機の周りを整理整頓し、燃えやすい物は置かない。
- ごみは指定された収集日の朝に出す。
- 夜間、照明等で家の周りを明るくする。
- 物置、車庫には施錠をする。
- 郵便受けに新聞等をためない。
- ご近所どうしで協力する。



スプレー缶は小さなガスボンベ

昨年12月16日に札幌市内において、スプレー缶が原因となる爆発火災が発生しました。使用・廃棄方法等を誤ると大きな事故に繋がる恐れがあります。

Point

- 直射日光等で高温となる箇所や湿気を避けて保管する。
- 厨房器具や暖房器具の付近で使用・保管しない。
- 使用前に注意書きを確認し、正しい使用方法で使用する。



- 廃棄の際は、火気のない通気性のよい屋外でガスがなくなるまで噴射する。
- 缶本体に穴を開け、指定の破砕するゴミ袋(ピンク色)で捨てる。